

研究課題：小児病院泌尿器科における抗菌薬適正使用支援(ASP)導入前後の静注抗菌薬使用量と耐性菌検出率の検討

1. 研究の目的

小児病院泌尿器科における抗菌薬適正使用支援プログラム(以下 ASP)介入の影響を明らかにすることです。抗菌薬使用量や、耐性菌(抗菌薬が効かなくなった菌)の検出率について検討します。ASPとは、小児感染症専門医や薬剤師が中心のチームによって、感染症の子供たちの抗菌薬の選択などについて、感染症治療をサポートすることです。

2. 研究の方法

2015年1月1日から2022年12月31日までの埼玉県立小児医療センター泌尿器科における入院患者様が対象となる、電子診療録から情報を収集する後方視的観察研究です。

3. 研究期間

倫理委員会承認後～2027年12月まで行います。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

電子診療録、細菌検査データベースを用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究の成果は主たる学会や雑誌で報告します。結果を公表する際には、患者様を特定できる情報を含まないようにいたします。

6. 研究組織

実施責任者：感染免疫科 医員 武井 悠
実施分担者：感染免疫科 科長 菅沼 栄介
感染免疫科 医長 古市 美穂子
感染免疫科 医員 出口 薫太郎
泌尿器科 科長 大橋 研介

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧すること

が出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）